



『超短編小説で読む いきもの図鑑 54字の物語 ZOO』

氏田雄介 著 / PHP

1話が54字で完結するので、とっても読みやすいのですが…。解説を読むと、たった54字でも話の奥が深いことが分かります。読後、「なるほど〜」とつぶやいてるかも。巻末には54字で物語を作るコツも掲載されています。みなさんもチャレンジしてみませんか。図書館には同じシリーズで『意味がわかるとゾクゾクする超短編小説 54字の物語』もあります。



『一日がしあわせになる朝ごはん』

小田真規子 著 / 文響社

これから新生活を迎える皆さんにオススメしたい1冊! 「のっけるだけ5分でできるレシピ」をはじめ、休日の贅沢パンケーキなど、写真を見ているだけで朝ごはんが待ち遠しくなります。「食パンに梅干とマヨネーズ」「納豆にアボカドとオリーブオイル?!」固定概念の枠を飛び越えた自由な発想が、料理をもっと楽しくしてくれます。



『山溪フィールドブックス⑤ 山菜』

木原浩 著 / 山と溪谷社

これから旬の季節を迎える山菜。本著では、拡大カラー写真で山菜の特徴や料理方法まで紹介。しかも、携帯しやすい大きさなので、山菜好きには重宝する1冊ではないでしょうか。これを読んで、あなたも山の幸を楽しみませんか。



『ガラスの壁のむこうがわ』

せいのおつこ 著 / 国土社

友だちをつくることに悩みながら自分を見つめ直す女の子のお話。「ありのままの自分とは」「自分らしくあるためには」。いろいろと考えさせられます。新生活で環境が大きく変わる時期、不安や悩みもあるけれど…だからこそ読んでほしい。焦らないで、自分らしく。

図書館活用ガイド もっと便利に! もっと身近に

「マイ本棚」便利なサービスを活用しよう!

自分が読みたいと思った本、読み終わった本をメモ(記録)しておきたいと思ったことはありませんか? 日野町図書館では、ホームページを利用して自分の本棚のように本を整理すること(利用状況の確認)ができます。



<やり方(利用状況の確認方法)>

①日野町図書館のホームページへアクセス

<http://tosyo.town.hino.tottori.jp/>

②左側にある「本を探す」をクリック

③移動先の「簡易検索ページ」から、「利用者のページ」⇒「ご利用状況参照」をクリック

④ユーザーログインページから利用者カードの番号、パスワードを入力

<必要なもの>

▼日野町図書館の利用者カード

▼パスワード※同じページから設定できます。

<問合せ先>

日野町図書館(電話 72-1300)



『赤い屋根』

鳥居真知子 著 / BL 出版

3編の物語の主人公はどれも小学生の男の子や女の子。何気ない日常の中で、いろんな人のやさしさにふれる瞬間が詰まったあたたかい本です。絵もとてもすてきで、壁に飾りたくなります。なにかとあわただし春に、少し足を止めて読んでほしい1冊です。



『強運の持ち主』

瀬尾まいこ 著 / 文藝春秋

OLから転身して占い師になった主人公のお話。悩みのある人たちが、占い師とのかかわりを通して「この先、きつということがある」と前に踏み出していきます。占いを信じる・信じないはあると思いますが、これを読めばあなたの背中をきつと押ししてくれるはず。

春は出会いと別れの季節。

あなたの人生をちょっぴり豊かに、そして優しくなるために、本を読んでみませんか。

この春、町図書館があなたに届けたいおすすめの一冊を紹介します。

読書は人生を豊かにする一。

本を読もう

~ Season 4 ~

問合せ / 町図書館 (電話 72-1300)



『ふきのとう』

甲斐信枝 著 / 福音館書店

春の訪れを知らせてくれる「ふきのとう」。皆さんは、このふきのとうに黄色い花と白い花があるのを知っていますか? 受粉を終えて枯れていくのが黄色い雄花、ぐんぐん伸びるのが白い雌花。そんな、ふきのとうの一年間を描いた絵本です。天ぷらにするとおいしいけれど、全部摘み取らないで、花を観察してみるのも面白いと思わせてくれます。

『Quest (クエスト) / 探究』

廣池昌弘 著 / 今井出版

鳥取県在住の著者が撮影した3冊「colors / 色」、「times / 時」、「reasons / 理」からなる写真集とその解説が収録されています。「壁に飾られる絵画のような『美しい写真』を撮りたいと思った」と著者の廣池さんは述べています。どのテーマも色鮮やかで、目が奪われること間違いなし。まさに、まるで絵画の世界に迷い込んでしまったと錯覚する一枚も…。いつまでも観ていたくなる作品ばかりです。県内で撮影された写真も多く掲載されています。



『「和」の行事えほん(春と夏の巻)』

高野紀子 著 / あすなろ書房

「ひなまつり」の由来は? 「おそなえ」の意味って? 「端午の節句」で、かしわもちを食べるのはなぜ? 「和」の伝統行事と季節の楽しみを、丁寧で可愛らしい絵で詳しく教えてくれます。由来と意味を知れば、季節の行事はますます楽しくなる! 日本人なら知っておきたい「和」の伝統行事と、季節の楽しみを、分かりやすく紹介します。親子で改めて日本の魅力を勉強できる1冊です。



『夜が暗いとかがざらない』

寺地はるな 著 / ポプラ社

普通って? 当たり前って? みんな見えないものに縛られながら、それでも懸命に生きている。涙を隠して笑顔を見せて、着ぐるみを着ているのかもしれない。でも、誰かの一言で傷ついても、別の誰かに救われたりして、登場人物たちは知らないうちに繋がっていく…。奇跡なんて起きなくて、すべてハッピーエンドではないけれど、じんわりと優しい気持ちになれる連作短編集。